

第48回学術大会、CISJ懇親会

日時：平成30年9月14日(金)～16日(日)
場所：大阪国際会議場(学術大会)、天王殿(懇親会)



熱田 互(東京都)



9月14日(金)から9月16日(日)まで、第48回公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会(第38回近畿・北陸支部学術大会併催)が開催されました。

14日は専門医講習会の後、恒例となりました当会の懇親会が歴史ある美しい庭園が自慢の料亭天王殿にて、開催されました。

そして、今回も当会から多数の座長、演者が御登壇されました。

特記すべきは、学会3日目、岩野 義弘先生、芦澤 仁先生の両エースが当会サイエンス委員会の出版したザ・クリニカルクエスチョンを題材に、臨床家の誰もが知りたい臨床疑問～論文と専門医100名のアンケートから答えを導く～と題してモーニングセミナーに登壇されました。日曜の朝8時からという時間帯にも関わらず300名を超える参加者を集め、大盛況となったことでした。注目度の高さを示す結果となりました。

また、角田 宗弘先生が「総合病院における要介護高齢者のインプラントの実態に関する看護師へのアンケート調査」を発表され、第48回公益

社団法人日本口腔インプラント学会学術大会 デンツプライシロナ賞を受賞されました。大変おめでとうございます。

私個人としては、歯科衛生士である妻がポスター発表を行い、そのお手伝いをしていました。その際に、これから専門医を目指す先生方のお名前を載せさせていただきました。専門医受験には、共同演者として発表が2回必要となります。研究倫理がかなり厳しくなりつつある昨今、まだ臨床報告の共同演者については、さほど厳しい規制はないように感じます。ぜひ、今後、ご発表される際は、これから専門医を目指す先生のお名前を載せていただけましたら幸いです。

今回も、学術大会において、当会の存在感を示すことができ、非常に充実した学術大会だったと感じました。

開催された関係者各位に厚く御礼申し上げ、稿を終わりたいと思います。

第48回 公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会・CISJ 懇親会



発表者一覧

第48回日本口腔インプラント学会学術大会 大阪
日本インプラント臨床研究会 発表者一覧

9月15日(土)

<セッション>

9:00~12:00 第3会場 田中譲治

「インプラントオーバーデンチャー設計の考え方と注意点」

14:10~15:40 第1会場 座長 井汲憲治

「インプラントと天然歯の調和・長期保存を目指して」

<一般口演>

11:00~11:50 第4会場 O-1-4-11 高良巖

「下顎小白歯欠損部へ矯正治療後にインプラント埋入を行った1症例」

15:10~16:00 第5会場 座長 笹谷和伸

「インプラント周囲炎」

<ポスター発表>

13:30~14:00 ポスター会場 P-1-15 北村英二

「スリット状クレスタルアプローチ上顎洞挙上を併用したインプラント治療の1症例」

13:30~14:00 ポスター会場 P-1-36 松浦宏彰

「左下大白歯にガイドを使ってインプラントを埋入した症例」

9月16日(日)

<セッション>

8:00~8:50 第5会場

座長:田中譲治 岩野義弘 芦澤仁

「臨床家の誰もが知りたい臨床疑問～論文と専門医100名のアンケートから答えを導く～」

10:40~12:10 第2会場 座長:井汲憲治

「学会ポジションペーパー訪問診療におけるトラブル対応を語る」

<一般口演>

9:00~9:50 第6会場 O-2-6-3 水口稔之

「インプラント治療における非吸収性の骨補填材を使用した骨造成後3年10ヶ月の骨量変化についての報告」

11:00~11:50 第6会場 O-2-6-12 池田憲吾

「上顎前歯部におけるインプラント即時埋入に対するオステオトームテクニックの応用」

9:00~9:50 第7会場 O-2-7-3 坂根清文

「抜歯即時埋入におけるプラットホームスイッチングタイプインプラント治療の埋入深度が周囲骨に及ぼす影響」

<ポスター発表>

13:20~13:50 ポスター会場 P-2-2 角田宗弘

「総合病院における要介護高齢者のインプラントの実態に関する看護師へのアンケート調査」

第 48 回 公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会・CISJ 懇親会





第48回 公益社団法人日本口腔インプラント学会学術大会 デンツプライシロナ賞

総合病院における 要介護高齢者の歯科用インプラントの実態 に関する看護師へのアンケート調査

日時：平成30年9月16日(日)

場所：大阪国際会議場

角田 宗弘 (群馬県)



平成30年9月16日、第48回日本口腔インプラント学会学術大会において、『総合病院における要介護高齢者の歯科用インプラントの実態に関する看護師へのアンケート調査』という演題でポスター発表を行い、デンツプライシロナ賞を受賞致しました。誠に光栄に存じます。私の勤務致します群馬県高崎市の日高病院の看護師を対象に、要介護高齢者のインプラントトラブルの実態と、もし自分が要介護状態となった時の理想的な口腔内を想像してもらうという内容のアンケートで、イ

ンプラント補綴が高齢者にどう貢献できるかを介護者の目線から考える一助になったのではないかと考えています。幸いなことに、当会において第1回要介護におけるインプラントを考える会(2017年)にて発表する機会を頂きました。それをきっかけにインプラント治療が目指す先について、様々な疑問を投げかけるようになりました。まだ確固たる答えはありませんが、今後も続けていきたいと思っておりますので、皆様のご指導のほど宜しくお願い致します。